

**【福生三小教育目標】** ◎は重点目標

- ◎よく考え やりぬく子
- 思いやりのある 心豊かな子
- 進んで体をきたえ 健康な子

【今年度のキーワード】

**鍛える**

平成28年度 重点取組

- ① 基礎学力と表現力の向上
- ② 基本的な生活習慣と規範意識の高揚
- ③ 運動に親しむ資質や能力の育成

**子どもの『知』を鍛える**

**子どもの『心』を鍛える**

**子どもの『身体』を鍛える**

□基礎学力の向上

- ・学習指導員・授業指導補助員等の有効活用
- ・週3日の朝学習と読書の時間の確保による計画的な実施
- ・毎週月曜日の放課後補習学習の実施
- ・夏季休業日中に5日間のサマースクールの実施
- ・家庭学習の計画的な実施による習慣化
- ・2～6年生での算数習熟度別少人数指導による個に応じた指導の充実

□学習習慣の確立と学習モラルの定着

- ・「ふっさっ子スタンダード」の定着
- ・チャイム始業・授業開始・終了の挨拶の徹底
- ・話形の徹底による正しい言葉遣いの定着
- ・「はい」「たっ」「です」の学習規律の徹底

□表現力を高める読書活動の推進

- ・読書週間の充実と図書ボランティアの活用

□児童の実態に応じた指導の改善

- ・児童実態に応じた課題に正対した授業改善プランの作成及び学年共通の実践
- ・インクルーシブの考えに基づく学級経営の推進

□生活指導の充実と徹底

- ・いじめを許さない学級、学校づくり
- ・児童会が主体となった挨拶運動の実施
- ・生活スタンダードの徹底（全校で一致した指導体制と小中一貫9年間の指導でぶれない指導）
- ・節度ある生活態度、落ち着いた学習生活習慣
- ・全校朝会での校長講話による人権教育、生命尊重教育の推進

□道徳教育の充実

- ・道徳の時間の授業の意図的・計画的な実施
- ・道徳授業地区公開講座を始めとした授業公開
- ・豊かな体験活動の教育活動への位置付け
- ・やまなみとの連携による理解授業

□保護者・地域との連携

- ・学校コーディネーターによるボランティアの活用（和太鼓、藍染め、昔遊び、ミシン、芝生、等）
- ・児童のよいところを積極的に認め合う

□個に応じた支援の充実

- ・特別支援コーディネーターによる支援体制の充実
- ・スクールカウンセラーや教育相談機関との連携強化

□日常的な体力づくりの推進

- ・歩くことよさを重視した遠足の実施
- ・休み時間の校庭遊びの徹底（一輪車等の開放）

□運動に親しむ資質や能力の育成

- ・「歩くこと」を重点にした校外学習の実施
- ・多様な動きを取り入れた体育授業の改善
- ・持久走週間、持久走大会の実施
- ・統一したなわとびカード、鉄棒カードを活用した自己の目標の明確化と充実感の醸成
- ・オリンピック・パラリンピック教育(障害者理解)の推進

□健康の保持増進のための健康教育の充実

- ・健康安全に対する指導の充実
- ・喫煙防止教育、薬物乱用防止教育の実施
- ・生活リズムの確立「早寝・早起き・しっかりご飯」の推奨

□食育の推進

- ・食生活の基礎・基本を身に付け健康を管理できる能力の育成
- ・栄養教諭による食育指導の充実

**自ら鍛える教職員**

- ・校内研究・研修の充実 = 研究主題「自分で解決する児童の育成～既習事項を活用する力を育て、学習を定着させる指導の工夫～」
- ・主幹・主任教諭を活用し、若手教員の育成するOJTの推進
- ・互いの授業を見合い、授業の質を高める取組



あいさつ運動



長縄集会



ミシンボランティア



運動会(藍染と和太鼓)



持久走大会



食育の授業